

「七尾市西下町」 にししも

県道46号線を中能登町方面から七尾市内に向けて車を走らせてくると、丁字路につきあたると。信号機の横には、「七尾市西下町」の小さな看板があり、その前方と左側には集落が並んでいる。

田鶴浜町史によると、西下町は明治17年までは、「下村」という地名だった。当時の鹿島郡内にあった現在の「下町（徳田地区）」と区別するた

めに「西下」と改名した。現在でもお年寄りの間では「下村」と呼ぶ習慣が残っているそうである。

3本の川と6つの橋

西下の集落は、二宮川の下流地にある。二宮川は石動山を源流とし、中能登町から七尾市内に入り、高階地区を通って西下町に流れ込んでいく。北流する二宮川に伊久留川と吉田川が落ち合せて、合流している。二宮川は落合橋、伊久留川は伊久留

川橋を通過して合流する。一方、吉田川は堅田橋と吉田川橋を通過して、最後に合流する。その先へ進むと西下橋、細田橋が見えてくる。1つになった

川は、西下水門を通り、さらに下流に進む。そして新屋地内で再び舟尾川と川尻川に別れ、七尾西湾に注いでいる。

伊久留川橋と吉田川橋

交流する川

は、6つの橋の中では新しく、昭和62年に架けられている。これは、県道46号志賀・田鶴浜線（伊久留バイパス）の開通によるもので、この橋の完成によって、この地域の利便性は非常によくなった。

川の今と昔

落合橋から、川を眺めると、水面には、枝を垂れた木々が写し出されている。私の気配に気付いたのか、その間から小鳥が飛び立っていった。右にそれて旧道を少し歩いていくと、ガードレール越しには竹が生い茂り、隙間からキラキラと光る川面がみえた。

今では、護岸整備された川が多く、川沿いの緑が少なくなってきた。ここからの景色は川が自然と溶け合っていることを感じさせてくれ、また緑の風に揺れる音が、心地良い。

このあたりは、昭和43年頃までは、鮭が遡上してきたり、子どもたちが川遊びや釣りを楽しむことができた美しい川だったという。

西下水門周辺では、鮎の量はすごいもので、手づかみで捕れるほどだったという。子どもたちは、松明をもって、釣りに出かけたそうである。



西下町交差点